

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年11月16日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 守田哲（TBS 社会部記者、池袋暴走事故を取材）		
検証テーマ： オープニング、香港の大学、 【特集】桜を見る会“私物化”の波紋		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高輪新駅初公開で山手線が大規模運休</li> <li>・オープニング</li> <li>・沢尻エリカ容疑者が麻薬取締法違反の疑いで逮捕</li> <li>・新潟市 20 歳女性刺殺事件で 25 歳男性を殺人容疑で指名手配</li> <li>・松本零士さんが搬送される</li> <li>・大饗の儀</li> <li>・香港の大学</li> <li>・山梨県の養豚場でも豚コレラ</li> <li>・中国湖南省でフランス人アスリートが飛行し天門洞をくぐり抜ける</li> <li>・2 歳児にスタンガンで怪我をさせた容疑で無職男性を逮捕</li> <li>・今年 7 月の強盗殺人未遂事件の容疑で中国籍の男性を逮捕</li> <li>・東京五輪の外国籍ボランティアで初の研修会</li> <li>・【特集】桜を見る会“私物化”の波紋</li> <li>・【特集】池袋暴走事故～葛藤の 7 ヶ月</li> <li>・【独自】沢尻容疑者逮捕前日の様子</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング：結論→特に問題なし 番組の冒頭で金平キャスターが「ええ、公私混同という言葉があります、公のことと私事をごっちゃにするという意味です。桜を見る会を国会議員たちが後援者のおもてなしに使うことは公私混同の最たるものです、来年中止にしたからで済むことではありません、もし、法律に違反した場合は責任を取るのがこの社会のルールです、特集でお伝えします。」とコメントしていた。 このコメントに当てられた時間は 22 秒だった。</li> <li>・大饗の儀：結論→特に問題なし スタジオでの日下部キャスターの「大嘗祭の祝宴にあたる大饗の儀が今日、皇居で催されました。」というコメントの後に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 "ナレ「両陛下は正午ごろ、三種の神器のうち、剣と勾玉を持った侍従を伴い、宮殿の豊明殿に入られました。大饗の儀には三権の長や大嘗祭のための米を納めた田んぼの所有者など大嘗祭に参列したおよそ 290 人が出席しました。」 天皇陛下「大嘗宮の儀を終え、皆さんをお招きし、大饗を催すこと、誠に嬉しく思います。この機会に、国民の</li> </ul>		

幸せと国の一層の発展を祈ります。」

ナレ「出席者には大嘗祭で備えられた白米で作られた白酒や炭で着色された黒酒と呼ばれる酒や料理が振る舞われました。また、宮内庁楽部による久米舞なども披露され艶やかな武官姿の踊り手が刀を持って舞を披露しました、大饗の儀は明後日も行われます。」 "

このトピックに当てられた時間は 81 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港の大学：結論→特に問題なし

スタジオでの日下部キャスターの「抗議活動が続く香港の大学では、学生に大学を離れるよう指示が出て、日本人留学生も急遽帰国するなど影響が出ています。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「デモ隊が立てこもり 12 日には警察と激しく衝突した香港中文大学では今朝、デモ隊の姿が消えていました。」

磯田雄大(報告)「一昨日取材した際にはデモ隊のメンバーで溢れかえっていた香港中文大学ですが、今はその姿はなく、衣類や食料品などの支援物資だけが散乱しています。」

ナレ「香港警察が会見で大学が暴徒の基地となっていると、述べ取締強化の意思を示したことをうけた対応と見られます。一橋大学から香港中文大学に留学している赤堀一虎さんは昨日午後 10 時までに学生寮から退去するよう大学側から通知されました。」

赤堀一虎さん「危険なことが起こると脅されて僕も結構ビビってしまったのでそれで自分の部屋の荷物片付けて。」

ナレ「寮に鍵がかけられ行き場を失った赤堀さん、一橋大学からも指示があり、明日日本に戻りますが機会があれば戻ってきたいと考えます。」

赤堀一虎さん「日本に帰った後でも僕の留学の一つの成果ではないですけども、僕が実際に見たものとして少しでも伝えていければなど。」

ナレ「香港では他の大学でも授業が続けられない状態が続き、留学生が続々と香港を離れています。」 "

このトピックに当てられた時間は 96 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】桜を見る会“私物化”の波紋：結論→特に問題なし

スタジオでの膳場キャスターの「特集は、総理主催の桜を見る会。私物化ではないかと、野党は批判をつけています。」というコメントに金平キャスターが「安倍総理の地元の人たちは、今、何を感じているのでしょうか？桜を見る会に参加した人、行ったことが無い人、様々な声を現地で直接聞いてきました。」と応えた後に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

金平「地元下関市の安倍晋三事務所ですけども、えー永田町はこう、わりと騒然している感じだったんですけど、ここは、来てみるとですね、非常に静かな、環境、事務所ですけども」

ナレ「安倍総理の地元、山口県、下関市。総理が主催する桜を見る会に、地元後援会関係者が多数招待されていた。その経緯を聞くために、総理の事務所を訪ねた。」

金平「おはようございます。TBS の報道局の報道特集という番組なんですけど、」

ナレ「事務所にいた私設秘書は、対応できるものがないと、述べた。」

金平「担当者はいたんですけど、取材は受けられないと、今、対応できる人間がないということで、会議を何かやりましたけれども、えー敷地から出るようにとのことで、非常に緊張した感じでした。」

"IKKO「どんだけ～」

ナレ「国の税金が使われている桜を見る会。私物化ではないかと批判されているが、地元では」

金平「ご自身が参加されたときは、後援会からのお誘いがあったということだったんですか？」

桜を見る会に参加した後援会員「それは言えません」

自民党 山口県議会議員「自民党の議員としては、とにかく発言しづらいです。」

安倍首相「皆さんと共に政権を奪還してから、7回目の桜を見る会となりました。」

ナレ「今年、4月に開かれた総理主催の桜を見る会。参加者はおよそ、1万8200人。予算の1766万円に対して、実際の支出額は、5500万円に上った。」

ナレ「国会で共産党が追及したのは、先週金曜日の事だ。」

共産党 田村智子参院議員「事実、安倍総理より前は、だいたい1万人前後なんです。なぜ1.8万人にもなるのかってことです。」

安倍総理「招待者の取りまとめ等には、関与していないわけであります。」

田村参院議員「今年の前夜祭の参加者は、約850人。翌朝、貸し切りバス17台で、新宿御苑に移動。まさに安倍総理の後援会の一大行事になっているのではないかと。」

安倍総理「それは、各個人がですね、それぞれの費用によって上京し、そして、そのホテルとの関係においても、えーそのホテルに直接払い込みをしていると承知をしているとでございます。」

ナレ「今週、水曜日、安倍晋三事務所名義で作成された桜を見る会の案内する文書の存在が明らかになった。事務所や担当秘書の窓口として、内閣府が取りまとめると記されていた他、東京観光とセットとなったツアーも企画されていた。」

"ナレ「こうした中、」

安倍首相「来年の桜を見る会については、私の判断で、中止をすることにいたしました。」

記者「他に説明をされないのか。」

ナレ「野党は、ホテルで開かれた後援会主催の前夜祭の会費が、5000円となっていることを疑問視。」

立憲民主党 黒岩宇洋衆院議員「当該ホテルに確認したところ、最低でも、どんなに最低でも、一人1万1000円かかると、差額供与にあたるのではないかと」

ナレ「野党議員は、昨日安倍事務所を訪れ、会費を事務所が補填していたのかと、公開質問状を提出した。」

ナレ「昨日、安倍総理は、」

"安倍首相「政府としては、国会から求められれば、出て行ってですね、説明するのが、当然のことで、ございません。」

記者「集中審議に応じる構えはあるのですか？」

"ナレ「立ち去りかけたが・・・」

安倍首相「今お答えしたつもりなんです、あの今さらに、よろしいですか？」

ナレ「2度にわたって、引き返して答えた」

ナレ「さらに・・・6時間後。」

安倍首相「夕食会を含めて、旅費、宿泊費等の、全ての費用は、参加者の自己負担で支払われております、一人、5000円という回避については、まさに大多数が、当該ホテルの宿泊者であるという事情等を踏まえ、ホテル側が、設定した価格であるとの報告を受けております。」

安倍首相「長年の慣行とはいえですね、また、私自身におきまして、年数を経るごとにだんだん人数が多くなってきたこともあり、そのことは、反省しなければならないと思っております。」

ナレ「そもそも、桜を見る会とはどういう会なのか。」

ナレ「桜を見る会は、1952年、当時の吉田茂総理によって始められた。満開の桜の元、外国の大使や、各界の功労者をねぎらう目的で、その後、60年以上、続いている。この形式のルーツといわれているのが、明治時代に始められた皇室主催の観桜会だ。」

ナレ「観桜会を研究している聖心女子大学の川上寿代氏。観桜会は幕末に締結された欧米との不平等条約を解消する狙いもあったという。」

聖心女子大学 川上寿代非常勤講師「当初は、条約改正交渉を側面からサポートするっていうものだったので、外交官や、外国人が主たる招待客でありましたけれども、日露戦争を機に、民間の功労者を招待しようという流れになってまいりました。」

ナレ「これは、1922年、大正11年に開かれた観桜会の写真だ。当時摂政だった昭和天皇が、イギリスの皇太子を案内する姿が写っている。」

川上氏「招待客の日記などを読みますと、おおむね喜んでいて意見が多いので、対日世論の好転といった事には、効果があったのではないかと思います。」

ナレ「観桜会が戦後、天皇皇后両陛下主催の園遊会として復活した。一方、総理が主催する桜を見る会は、肥大化していった。」

ナレ「桜を見る会を巡る問題について、安倍総理の地元はどう受け止めているのか。下関市を地盤とする自民党県議会議員が匿名を条件に取材に応じた。」

金平「地元の方として、議員としてですね、今どういうお気持ちでいらっしゃいますか？」

自民党 山口県議会議員「ずいぶん報道がひどいかなっていう、実際問題報道ですね、なかなかその報道とは違う面もたくさんありますから。」

ナレ「今年の桜を見る会に参加したというこの県議は、前夜祭について、『振舞われた食事や酒は決して豪華なものではなかった。』と話した。そのうえで」

"県議会議員「まあとにかく、このような問題です。大きくならない方が良くないかなーというふうに、わたしは、期待してますけど。これ以上、」

金平「これ以上、おおきくならない方がいい？」

県議会議員「うん」

金平「でもやっぱり、なんていうんですかね、いちおうちゃんとけじめをつけるっていうんですか？で、起きたことは起きたこととして一応、全部つまびらかにするっていうか、明らかにするというのは、必要ですよね？」

県議会議員「あの一まあそういう面もあるんじゃないかなって思いますけど、あの一とらえ方がですね、いろいろと皆さん違っているもので、僕からはコメントしづらいです。」

ナレ「攻勢を強める野党への反論もあるという。」

"県議会議員「まあ、それは、今は無い政党のことを言っちゃダメだけでも、鳩山さんの時もね、やっぱ、自分の支援者を連れて行っているじゃないですか。支援者が、行かれていますのは、これはもう、衆目の一致しているところでしょうから、それに対して『連れていっていないよ』と言ってませんけどですね、それをなぜ今更ということ、私としてもありますよね。」

金平「やっぱりただ」

県議会議員「自民党の議員としては、とにかく発言をしづらいです。今は、何を言っても、ご批判はあるだろうから。こっちが正しいと思ったことを言っても、批判はあると思いますし。」

ナレ「別の地元議員は、桜を見る会に参加した経緯を語った。」

金平「桜を見る会の参加というのは、どういう基準で、選ばれたんですか？」

地元議員「あの一参加者の基準というのは、全然わかりません。『行きたければ申し込んでください』ですから。基準ってそんなになかったんじゃないかとは、私は思います。今年も、桜の季節になったから、あれがあるんだねえ、今年は今までは行ってなかったから行こうかね。とか、もう一回行ってみたいとかいう、話題というか意識が皆さんにあるじゃないですか。それじゃあ事務所に聞いてみようかとか、いろんな動きがあって、安倍事務所意図しても、そういう問い合わせに対応したと思います。」

金平「なるほど。」

ナレ「安倍総理の後援会員にも聞いた。」

金平「ご自身が参加されたときは、後援会からのお誘いがあったということだったんですか？後援会員」

"後援会員「それは言えません。」

金平「いえない？ああ・・・言えないですか？」

後援会員「うん。それはあなた方が思う通りかもしれないし、違うかもしれない。私からは」

金平「でも、最初のきっかけとしては、自分たちで参加したいって言う風に思ったのか、あるいは、お誘いがあったのかということだけでも・・・」

"後援会員「それも言えません」

金平「言えない？」

後援会員「うん。」

金平「あーそうですか。」

後援会員「だからそれは微妙なところですからね。」

ナレ「また、こう不満も漏らした。」

後援会員「ただ、1万8000人の中の約800人がどうやこうや言う話はね、一方的に物事を取り上げすぎ、」

金平「安倍さんの事ばかりに焦点を当てすぎているという」

"後援会員「いかにもね、こう小さいところをそれはまあ小さいところか、ぼくはまあ小さいところだと思うけど、そこを掴んで、何とかここへ、引きずり降ろそうという感じがするんだ。それはちょっと違和感というか、偏りすぎる。」

金平「それが一番おっしゃりたい」

ナレ「有権者からは、ひややかな声も聴かれた。」

有権者「まあちょっと、まずいんじゃないかっていう、不安もしますよね。潔癖っていう証拠が全くないでしょ。灰色ですよ。はっきり言って。」

有権者「考え方や、安倍さんのファンの人は、そんなあんまりこだわらんかもわからんし、ちょっと全然関係ない人は、あれしたら、おかしいなって、野党さんが追及するのも、分かるような気がしますね。」

金平「あの、下関の地元の方としては、聞いてて、どうです？」

男性「いやー。ワシらはね、そういう話は無いけどね、あんまり安倍さんが好き放題やっておるけえね。」

有権者「税金の無駄遣いじゃないですかね。安倍さんの人気取りで、税金をあれだけ使っているんじゃないかって、僕は思うんですけどね。」

有権者の女性「参加者も、誰がいつているのか、一部しか分かんないとか、どういうこう経過で、参加者を募って選んだのか、セレクトしたのか、わかんないし、公開しないものに税金を使ってはいけないと私は思いますけど。」

"安倍首相「かんばーい」

ナレ「桜を見る会を見る会を巡る今の状況をかつての自民党の重鎮は、どう見ているのか。山崎拓氏。自民党の幹事長や、副総裁を歴任した。」

日下部「自身は桜を見る会は何度も、出席されたんですか？」

山崎氏「あの一たぶんね、数回出席したと思います。特にあの、中曽根内閣のね、官房副長官を務めたときは、出席したと、思います。桜を見る会自体には、失礼ですけど、あんまり興味が無かったですね。」

日下部「それなりの、招待枠を持っていたわけですか？」

山崎氏「持ってたと思いますね。ええ。だけど何名だったか、本当に記憶が無いんですが。」

日下部「それが100人を超えるとかい？」

山崎氏「いやいやそんなことは全くないです。そんなことは全くありえないこと、で、幹事長やってるときも、政調会長やってる時でもありますね、そんなに多くなかったような感じがしますね。10人とか、20人だったんじゃないかという気がします。」

ナレ「安倍総理の後援会関係者が参加するツアーが組まれていたことについては、」

山崎氏「ノブレス・オブリージュという言葉があるが、地位の高い人の持つですね、責任と。首相の立場がね、国民の代表ですから。代表のまた代表だから。公私混同っていうのは、まずいんじゃないかって気がします。」

日下部「どうも長期政権に渡って、周りをいわゆるお友達で、固めていく中で、一種の甘えに近いような構造もあるような気も私はするんですけど、いかがですか？」

山崎氏「長期政権の故じゃないと思いますね。あの本人が持つてる例えば国会で野次を飛ばすっていう、品位の問題であると思いますね。やっぱり自分の品格を高く持つという意識が元々ないんじゃないかと。思いますね、総理大臣という立場をよくわきまえていないというところが、随所にみられるんでね。」

ナレ「桜をみる会を巡る問題に法律違反は無いのか？公職選挙法に詳しい専門家に聞いた」

膳場「安倍総理は、取りまとめ、招待者の取りまとめをしていないと国会で行っていますけれども、これ見ますと安倍晋三事務所で、桜を見る会のご案内、これ誰でもいけるんですね。」

日本大学法学部 岩井奉信教授「これ見るとね、例えば、取りまとめは、事務所で後援会で、やっぱり私的な団体ですよ。ところがこの最後の一行を見るとね、内閣府から取りまとめになりますと書いてあって、ここ公的な部分ですよ。まさにこの書面そのものが、公私混同を証明してるんですよ。」

ナレ「公職選挙法は、現職の政治家や、候補者が、選挙区内の人に、寄付することを一切禁止している。」

膳場「これは、法律違反になるとお考えですか？」

岩井教授「そうですね、まあ、一般的に見ればですね、まあ法律違反という言えると思いますね。というのは、後援会の人たちに対して、ただで食事やあるいは飲み物を提供しているわけですから、ただその一方でですね、最終的にはですね、招待をされてるんですね、その一内閣府から。となると、安倍、政治家安倍晋三の招待というわけではない。いわば国の招待だということになりますから、やはりその、法的責任を問うということは、なかなか難しいかなーという感じがしますね。」

ナレ「また、桜を見る会の前夜祭の会費、5000円が適正かどうかは、ホテル側から計算書などが出ない限り分からないと話した。」

膳場「ただ、これで幕引きにしてい問題ではないですよ？」

岩井教授「やはり、あの、誰が見ても分かるような選定基準を明らかにすると、いうことが大事。それから、政治家の紹介といったようなものは、一切排除すると。長年に渡ってですね、あの一選挙区サービスの一環として使われてきたという実態があると。一体全体過去はどうだったのか。あるいは政治家枠というのは、どう使われてきたのかということですね、記録がないとは言うんだけど、なんとかきちんと明らかにしてほしいと思

いますね。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

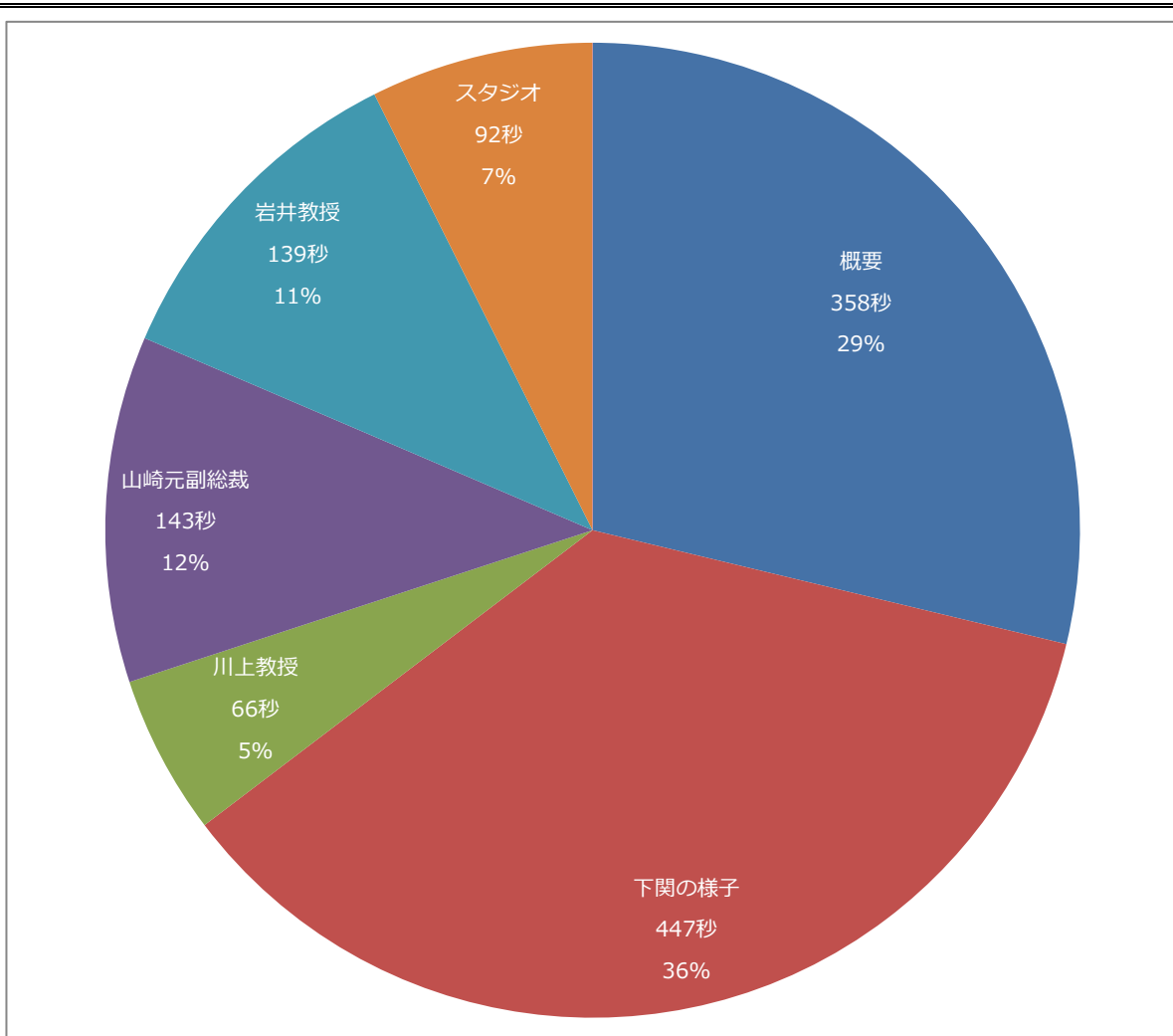
膳場「政治資金に詳しい岩井教授は、税金を使って総理の選挙区サービスが行われてきたのは明らかに公私混同だけれども、あの法的責任が問いにくくて、うまくやっているなあ舌を巻いていました。昨日のね、総理の釈明では、何も証拠が示されませんでしたよね。あのホテル側や、旅行代理店の明細書を明らかにしないとけませんし、内閣府の招待者の選好がどういうプロセスだったか、これも公開する必要がありますよね。」

日下部「あの一山崎拓さんはね、国民は自らの水準以上の政府を持てないという言葉を用いて、国民の責任についても、触れていたんですね。まあ税金が使われている以上、政府に説明責任があるのは当然ですけども、一方で国民の方にも、税金が正しくつかわれているかどうかチェックして透明性を高める努力が必要だと思うんですね。なあなあで済ましてはいつまでも、政府の水準は上がらないと思いますね。」

金平「僕は、地元取材にいったんですけどね、安倍総理に近ければ近いほど、取材拒否、カメラお断りっていう状況だったんですね。あの指摘しておきたいのは、菅官房長官が桜を見る会の招待者名簿は、遅滞なく廃棄したっていうふうに言ってましたけれど、遅滞なくって言い方は、冗談じゃないと思いますね。そんなことをするから、招待者がどんな基準で選ばれているかが、検証できなくなってしまったわけで、公文書はゴミではないわけで、国民の財産ですからね、この内閣は都合の悪い文書っていうのは、何かと廃棄するんですけど、こんなことを繰り返しては、大げさではないですけど、国が滅びちゃうんですね。」

この特集に当てられた時間は 1245 秒だった。

また、この特集の中で、概要を取り上げた場面、下関に取材した様子を取り上げた場面、観桜会の研究者である川上寿代氏の見解を紹介したシーン、山崎拓元副総裁の見解を紹介したシーン、公職選挙法に詳しい岩井奉信教授の見解を紹介したシーン、特集の VTR を受けてのスタジオでのやり取りのシーンに大別され、その時間配分および比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・オープニング：結論→印象操作のおそれあり

番組の冒頭で金平キャスターが「ええ、公私混同という言葉があります、公のことで私事をごっちゃにするという意味です。桜を見る会を国会議員たちが後援者のおもてなしに使うことは公私混同の最たるものです、来年中止にしたからで済むことではありません、もし、法律に違反した場合は責任を取るのがこの社会のルールです、特集でお伝えします。」とコメントしていた

なお、桜を見る会については特集でも取り上げられていたが、そこでは岩井教授の「そうですね、まあ、一般的に見ればですね、まあ法律違反といえると思いますね。というのは、後援会の人たちに対して、ただで食事やあるいは飲み物を提供しているわけですから、ただその一方でですね、最終的にはですね、招待をされてるんですね、その一内閣府から。となると、安倍、政治家安倍晋三の招待というわけではない。いわば国の招待だということになりますから、やはりその、法的責任を問うということは、なかなか難しいかなーという感じがしますね。」という見解が紹介されていた。

特集では法的責任を問うのは難しいという専門家の見解を紹介しているが、番組の冒頭で「来年中止にしたからで済むことではありません、もし、法律に違反した場合は責任を取るのがこの社会のルールです、特集でお伝えします。」とさも法的責任を問えるかのように印象づけるコメントを一方向的に発するというのは、視聴者に対



して特集を視聴する前から「安倍総理は法律違反をしており、法的責任を問うことが可能である」という印象を与える恐れのあるものと言える。

#### 検証者所感

##### ・【特集】桜を見る会“私物化”の波紋

下関の様子を紹介するシーンで、インタビューの対象となった県議は「自民党山口県議会議員」としか紹介されていなかったが、山口四区とくに下関といえば、中選挙区制の時代から今に至るまで自民党内でも安倍系と林系の間に分かれている。このことは他の選挙区の人にとってはピンとこないかもしれないが、地元の住民や、そうでなくとも政治事情に詳しい人にとってはそれなりに知られていることである。もちろん、金平キャスターもそんなことは百も承知の上で取材をしているのだろうが、特集では下関という土地は「安倍総理の地元、山口県、下関市」としてしか説明されていなかった。下関という土地では自民党内でも安倍系と林系という中選挙区時代の名残が今なお存在するという情報を持って自民党の山口県議会議員の匿名インタビューを聞くのと、持たずに聞くのとでは受ける印象が変わってくるのではないだろうか。

また、自民党重鎮の声として山崎元副総裁を取り上げていたが、山崎元副総裁は桜を見る会については「桜を見る会自体には、失礼ですけど、あんまり興味が無かったですね。」と、また、招待の人数については「ただ何名だったか、本当に記憶が無いんですが。」とインタビューの冒頭からコメントし、インタビューの後半では桜を見る会とは無関係なところでの安倍総理批判を展開していた。そもそも桜を見る会に「興味がなかった」、招待客については「記憶がない」というような人物のインタビューというのは、桜を見る会の特集で盛り込むにはいささか不適當であり、もう少し、桜を見る会についての記憶のある人物のインタビューを取り上げたほうが良かったのではなかろうか。このようなインタビューでは桜を見る会をダシにして、番組としては安倍総理批判を取り上げただけなのではと疑われかねないように思えた。